



ホテルの客室空調用

尾道国際ホテル 様 (広島県尾道市)

四半世紀使ってきた三菱電機製チラーへの信頼感、それが後継機にDT-Rを選んだ第一の理由です。

ご採用機種 空冷ヒートポンプチラー(DT-R):CAHV-P1800A-N-BS(内蔵ヘッダー・耐塩害仕様)×2台

「文学の街」「坂の街」「映画の街」、そして近年では「猫の街」とも称される尾道は、瀬戸内屈指の観光地。瀬戸内しまなみ海道を巡るサイクリングの拠点としても人気です。客室88室と市内最大規模の宴会場を備えた尾道国際ホテル様は、その尾道を代表するシティホテル。尾道国際・尾道ロイヤル・尾道第一の3館からなるホテルグループの旗艦ホテルであり、熟年のご夫婦や女性グループのほか、欧州からの個人客、台湾のサイクリストなど、多様な客層から支持されています。

尾道国際ホテル様では、2016年4月に客室空調(セントラル方式)の熱源機を更新しました。既設の三菱電機製空冷ヒートポンプチラーは1988(昭和63)年5月の創業時からのもの。大きな不具合はないとはいえ老朽化は否めず、もし故障すればお客様にご迷惑をかけるため、冷房需要期前に更新工事を終えました。

計画段階では個別空調化や他社製チラーのプランもありましたが、長年使ってきた三菱電機製チラーと保守サービスへの信頼は厚く、後継には最新機種の空冷ヒートポンプチラーDT-Rをご採用いただきました。更新後は能力面・管理面ともにご満足いただき、運転音の静かさでも好評です。



▲プレミアデラックスツイン。ベッドはサータ社製ポケットコイルマットレス



▲季節に合わせて設えを変える開放的なロビー



▲シングルルームの空調吹出口。負荷側(ファンコイルユニット)は既設のままだが、空調は快適



▲屋上から三原方面を望む。ホテルは尾道水道まで徒歩1分の好立地にある

DT-R 採用のメリット

- 1 三菱電機製チラーは信頼性が高く、更新によってさらにCS向上が図れる
- 2 既設機同様のメンテナンスサービスで安心できる
- 3 内蔵ヘッダー仕様で省設置が可能、工期も短縮できる
- 4 運転音が静かで近隣に迷惑をかけない

(お客様の談話から)

更新前

空冷ヒートポンプチラー
CAH-60F(60馬力)×2台



更新後

空冷ヒートポンプチラー DT-R
CAHV-P1800A-N-BS(60馬力)×2台



▲リモコンは事務室に設置。管理しやすくなったと好評



▲外調機を兼ねるエアハンドリングユニット

▲配管のとりまわしとポンプ。防音板は既設を利用

お客様の声



政府登録国際観光ホテル
尾道国際ホテル
執行役員 支配人 寺岡 靖治 様

以前のチラーは開館以来の機種なので、いつ不具合が起こってもおかしくない状況でした。今回の熱源更新で不安が払拭でき、ほっとしています。工事もスピーディで、客室空調を止めることなく2週間で完了して助かりました。

四半世紀以上使ってきた三菱電機製チラーは、部品交換こそしましたが大きなトラブルはなく、その信頼感がDT-Rの選定につながりました。保守面でも、三菱電機ビルテクノサービスさんは当館の設備担当者からの信頼が厚く、検討段階では他社機も候補でしたが、DT-Rにしてよかったと思います。当グループの会長も「三菱電機でない」という意見でした。「創業時からお願いしているメーカーなので更新も頼んだほうが安心できる、変えてはいけない」と。

更新後は事務所内に設置したリモコンでチラーの運転操作が可能で、温度もわかることが設備担当者に好評です。従来は屋上巡回が必要でしたが、オペレーションがよくなると、よりお客様に快適に過ごしていただけますね。運転音が気にならなくなったこともメリットです。従来は始動音が結構大きくて、周囲に迷惑ではないかと気遣っていましたが、DT-Rは静かで安心です。また長期にわたって順調な稼働を期待しています。

提案者の声



三菱電機ビルテクノサービス株式会社
中国支社 福山支店 ファシリティ係
係長 高橋 慶彦 様

2015年の夏頃から機種提案を進め、当初は空調を止めて工事する予定でした。しかし、「客室空調が止まらないようにしてほしい」とご依頼があり、2016年4月に1台ずつ更新することにしました。

個別空調化の打診もあったのですが、既設と同じ空冷チラーのDT-Rをお勧めした理由は、第一に既存の配管と負荷側機器がそのまま使えて工期が短くて済むことです。

今回は内蔵ヘッダー仕様なのでさらに工期の短縮になりました。もちろん、省エネ性や、60馬力機集約による省コスト性、冷媒回路が4系統あってリスク分散できること等もアピールポイントでした。

更新後は管理の省力化や静音性も好評で嬉しく思います。